

2016J2

■順位表■第30節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	札幌	66p	+28	48	20	H●	A●
2	松本	57p	+18	41	23	H●	A△
3	C大阪	54p	+12	45	33	H●	
4	岡山	53p	+13	43	30	A○	
5	清水	51p	+28	57	29	H△	A●
6	京都	51p	+12	38	26	H●	
7	山口	44p	-1	43	44	H●	
8	横浜FC	43p	0	35	35	A○	
9	町田	42p	+5	36	31	A△	
10	千葉	40p	+2	40	38	A●	
11	長崎	39p	-3	33	36	H●	A●
12	愛媛	39p	-3	25	28	A○	
13	徳島	37p	-2	31	33	A○	H△
14	水戸	36p	+1	33	32	H○	A●
15	群馬	33p	-7	35	42	A●	
16	熊本	33p	-15	31	46	H●	
17	東京V	32p	-13	28	41	A△	
18	山形	31p	-5	28	35	H●	A△
19	讃岐	30p	-9	28	37	A●	H△
20	岐阜	28p	-19	30	49	---	---
21	北九州	27p	-16	34	50	H○	
22	金沢	25p	-21	26	47	A○	H●

次回HomeGame

第32節 vs.愛媛FC

9/18(日) 19:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場



本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23
tel:058-273-8998

ALADDIN

何も無い店だけど..

心の花が咲く..

何も無い店だけど..

心 癒される..

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

today's guest : **ジェフ千葉**

2015 J2 15勝12分15敗 勝ち点57:第9位

直近の対決と結果

2016/05/22
J2-14節@フクアリ

千葉 3-2 岐阜

田森大己、高地系治 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	ジェフ千葉
2016/08/27 天皇杯1回戦@メドウ 岐阜 1-2(延) HondaFC	2016/09/03 天皇杯2回戦@フクアリ 千葉 2-0 金沢
2016/08/21 J2-30節@NDスタ 山形 1-1 岐阜	2016/08/27 天皇杯1回戦@フクアリ 千葉 5-0 北教大若見沢
2016/08/14 J2-29節@長良川 岐阜 1-1 徳島	2016/08/21 J2-30節@フクアリ 千葉 2-0 岡山

●吉田監督体制になって3週間が過ぎ、リーグ戦も残り3分の1となって迎えた8/14(日)第29節・徳島戦。今度こそホームでの勝利をと、試合に臨んだFC岐阜だったが、今節も前半に先制され、後半に追いつくという展開で1-1のドロー。続く8/21(日)第30節・アウェイ山形戦では、待望の先制点を待望の#24 難波宏明が決めたが、後半にセットプレーで追いつかれ、またしても1-1でのドロー。これで4試合連続で1-1、1-1試合未勝利という結果になった。この2試合の結果、FC岐阜の順位は変わらず20位。金沢が1分1敗、北九州が1勝1分だったために順位が入れかわり、21位・北九州とは勝ち点差1に迫られているが、わずかながら勝ち点2を積み上げた効果で、19位・讃岐との差はわずかに縮まり、また22位・金沢との差もわずかに開き、18位・山形までが勝ち点差3、15位・群馬までが勝ち点差6の範囲になっている。まだまだ過酷な中位～残留争い、油断も悲観もする必要はない。

この試合後にJリーグは中断期間に入り、第96回天皇杯が開催された。FC岐阜も8/27(土)にHondaFCと対戦。試合は1-1で推移し延長戦後半、アディショナルタイムに決勝点を許し、1-2で悔しい1回戦敗退となった。しかしここは、リーグ中断期間の2週間を集中したトレーニングで過ごすことができたのだとポジティブに考えたい。そして、その成果を今節こそ勝利で僕らの前に見せてほしいところだ。

さて、Jリーグ再開の初戦となる今節の対戦相手は、現在9位のジェフユナイテッド千葉だ。“オリジナル10”のひとつで例年J2上位争いに加わる強豪チームだが、選手を大幅に刷新した関塚監督3年目の今シーズンは低迷。ついに7/25(月)に関塚監督が解任され、長谷部コーチが昇格している。その後の成績は5戦2勝1分2敗。前節は3位・岡山に2-0で勝利しているが、その前には18位・熊本に3-0で敗戦するなど、まだ戦術に不安定さを残しているように思える。一方、天皇杯では9/3(土)に金沢を2-0で降して3回戦に進出しており、連勝でチームの勢いは出てきているだろう。

通算対戦成績は、岐阜の3勝3分7敗10得点18失点と大きく負け越しているが、ホーム戦では2勝2分2敗・4得点5失点と、互角の内容だ。昨年10/26(日)の対戦では、終盤に#4岡根直哉のボレーシュートで1-0の勝利。しかし今シーズン5/22(日)アウェイ戦では惜しくも2-3で敗戦している。

千葉で最も注意すべき選手には、まず現在9得点の#14町田也真人と8得点の#9エウトンを挙げたい。前節岡山戦でも1得点ずつを決めており、この2人のアタッカーや、#10長澤和輝、#11船山貴之などのタレント豊富な攻撃陣に対して、#4岡根直哉など岐阜のDF陣がゴールを死守することが、勝利への絶対条件だ。岐阜の選手では、千葉県出身の#35磐瀬剛や08年に千葉でJリーグデビューを飾った#19益山司は古巣相手に燃えているはずだし、また#17野垣内俊は、今節出場すれば自らの誕生日にFC岐阜一筋でJ2通算出場200試合を達成することになる。やはり、この素晴らしい記録はチームの勝利で飾って貰いたい。攻撃の要である#33レオミネイロが累積警告で出場停止なのが不安材料ではあるが、吉田監督の選手起用に、そしてその起用に応えた選手たちが期待通り活躍する姿を期待したい。

天皇杯の結果、幸か不幸かJ2リーグ戦に集中すればいい状況になったFC岐阜。リーグ戦の残りは今節をいれて12試合。そして、今節こそホームで勝利を。最後までひたむきに勝利を目指す選手たちを、最後まで拍手と声援で励まし、そして、5ヶ月半ぶりのホーム長良川での万歳四唱で、選手たちと共に勝利の歓喜を分かち合おう。(ささたく)



「いらっやいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。
休:月曜日

投稿募集!!

アドレスが変わりました

gidaidohri@gmail.com

【第29節】岐阜 1-1 徳島

●試合終盤に追いつく劇的な引き分けとなったアウェイ・松本戦から中2日、真夏の夜の浴衣デー。今節こそホームで勝利を…って、ええっ、#4岡根直哉がトップ下？んで、#20鈴木潤がいるから右SBかと思ってた#17野垣内俊が右サイドハーフ！？まあ真夏の3連戦の最終戦だから選手たちには疲労も溜まってるし、回復具合を見ての起用策なんだろうなあ…。

しかし、その慣れない選手配置になっていた右サイドを破られてしまい、残念ながらまたしても前半17分で失点。その後も試合は徳島ペースになりながら、何度か惜しいチャンスもあったけれど、#4岡根をアンカーに下げて守りを固め、追加点を許さない形で前半を終える岐阜。ここ数試合の定石どおりですね（笑）。後半になると、これも定石どおり、ブラジルトリオを逐次投入して攻撃力を強めていく岐阜。その吉田監督の思惑通り、投入直後の#33レオミネイロがロングボールに反応してDFの裏を抜け、GKとの1対1を決めて同点！その後も流れを掴んだ岐阜が何度か、ブラジルトリオの崩しで（苦笑）ビッグチャンスを得ただけど、決まらない…あれの1本でも決めてくれてたら…（溜息）。

同点の後は得点が動くことはなく、残念ながらそのまま試合終了。久しぶりに、追いついた後に「勝てるかもしれない」と思えた、悔しいドローだった。あれで逆転弾が決まれば、今までのモヤモヤが一気に晴れるぐらいにスタジアムが沸いたんだろうなあ…。とはいえ、ホームで同点に追いついて勝ち点を積み上げたことは、結果としては評価したい。勝利まで、あと少し。そのために、あと少し力を振り絞って、声援を送りますよ！（ささたく）

●それにしても、キックオフからスゴかったね。まさか、まさか。キックオフのセンターサークルにバンディエラがいるなんて！キックオフをノガーシュンが蹴るなんてコト、ボクの目の黒いウチにあるとは想像すらしなかった（爆笑）アレで、もし、翼のシュートが決まっていたら……。おそらく、いろんなところで何かが発見して崩壊するような騒ぎになってたろうな。今考えても、翌日出勤できてたかどうか自信がない。いや、ホント、とんでもないモノを見てしまったよ……。

と、まあ、冗談はこのくらいとして。スタメン見た時はいつたい、何がなんだか。並びがどうなるのか、結局試合が始まるまでわからず、「これが恵マジックか！？」とか思ってしまっただけけれども、キックオフを行った野垣内が前目にいるとか、どんだけ守備重視の配置なんだ。そんなことを考えていたのに、またしてもサクッと失点。それも、またまたセット・プレー。しかも、特に長身でもない、どちらかというアシストする側のタイプの大崎に決められるなんてね。そういう失点をなくすための布陣、起用じゃなかったのか？でも、そう簡単に悪癖が治るんなら苦労はしないよね。後半に予定通りの交替をして、攻撃のスイッチを入れたら、ヨシナリからのフィード一本をエヴァが流してレオミがズドン。ま、相手GKが弾いたボールがウマイ具合にレオミの足に当たって、それがまた絶妙な角度で無人のゴールに飛び込んだという、ものすごくラッキーなゴール。でも、それを呼び込んだのはレオミを始めとした交替出場選手の勢い。もう、ボールとしてはゴールに飛び込まざるを得ないような流れがあったということだろう。ただ、その後のチャンスでシュートを選択しなかったような場面もあり、徳島にもあわや、の場面を作られたりしたので1-1のドローは妥当な結果というべきか。今までは、この「勝ち点1」が拾えなかったんだから、その点はよかった。これで3試合連続のドロー。この勝ち点3の積み重ねは大きい。地味だけれども大きい。点が取れているという点も重要だし、追いついての引き分けというのも今後に向けての好材料になるんじゃないか。なってほしい。次の山形戦を終えれば天皇杯。リーグ戦はしばし中断。この期間を利用して連携を深め、チーム戦術を浸透して行ってほしい。再開後の千葉戦を非常に楽しみにしている！（ぐん、）

【第30節】山形 1-1 岐阜

●猛暑（酷暑？）の岐阜よりはマシとはいえ、この日の山形は最高気温36℃と、今年最高の猛暑。18時の試合開始時に下がったとはいえ、30℃越えの天候は暑さに慣れた岐阜の選手たちに有利かも…って皮算用してただけど、日が暮れたら湿度も低くて涼しさを感じるあたり、やっぱり東北の夏は違うなあ…と思いつつ、18位・山形との“残留直接対決”は始まった。

前節と同様に#35磐瀬剛をCBにして、まずは守備を重要視する形の岐阜。今節は#33レオミネイロはスタメン投入だったけれど、後半にはベンチのブラジル人2人を投入するのが、過去3試合の試合展開からして目に見えるような（苦笑）。ただ、それでも失点していた過去3試合を踏まえ、今節はさらに守備に重点を置いた構えに。相手に主導権を奪われるのは放置して、しっかりと枚数をかけて自陣前にブロックを作り、山形の攻撃を跳ね返し続け、カウンターを狙う作戦。それは構わないのだけれど、ボールを跳ね返すにしてもカウンターを仕掛けるにしても、残念ながらもう少し前線でボールが収まってくれないと、守備陣がブロックを作り直したり前線に攻撃の選手が上がっていく時間が作れなくて、ちょっと苦しい展開になっているように感じられた。

そんな状況で、はじめて奪ったCK。#5青木翼が蹴ったボールを、ニアに飛び込んで頭でコースを変え、ゴールネットを揺らしたのは…#24難波宏明！？実は僕らの反対側での出来事でよく見えなかったし山形サポもあつけにとられたみたいで無反応に近かったので、一瞬何が起きたのか僕は判らなかった（苦笑）んですが、10試合ぶりの出場に応えた約1年ぶりの難波の得点に、激しく盛り上がる岐阜サポたち。その後は5バック？ぐらいに守備を固めて、前半を無失点で凌ぎきる岐阜。スタッツを見ると、前半のシュート数は山形の9本に対して、岐阜は1本…つまり難波のヘッドひとつだった訳で。効率が良いと言えば聞こえが良いけれど、後半はどうするか少し不安に。後半になると、想定通り(?)#36瀧谷亮に替えて#9エヴァンドロを投入し攻撃的にシフトしたのは良いのだけれど、山形は対応策を検討済だったんじゃないかな…前線でボールが収まる時間や回数がさらに少なくなってしまった様に思えた。それでも粘り強くゴール前を固める岐阜だったけれど、CKからのセットプレーで失点を許してしまい、同点に。ちょっとファーに人数が少なくて、フリーにさせちゃったなあ…残念。失点直後に#10レオナルド・ロシャを投入して攻撃にシフトしようとした岐阜だったけれど、勢いを増した山形の猛攻に晒され、ブラジルトリオの攻撃も奏功しない。長い長い我慢の時間が続き、主審のホイッスルが鳴った時、僕は正直ホッとしていた。先制したのに守りきれなかった、勝てなかったのはもちろん残念だけれど、逆転負けもしなかった。シュート数は山形の21本に対して岐阜は2本。それでも、1-1の引き分けだってんだから、ホント勝負の行方は判らない…ところで、岐阜の“2本目”って誰のシュートです？ひょっとしてエヴァンドロ？（苦笑）

これで4試合連続ドロー。「11試合未勝利」だけど「4試合負けなし」でもある。この勝ち点1をポジティブに捉えて、次こそホームで勝利を！

（ささたく）

●う～ん、シュート1本ではどうしようもないか。後から2本に訂正されてはいるんだけど、2本でも変わりがないよねえ。こんな有り様出羽、もとい、有り様では仕方ないよ。そりゃあ、18本（だっけ？）も打たれて、そのうち枠内が7～8本くらいか。よく一点で済んだよな。必死でクリアはするけれども、ただの蹴り返しになっちゃって、ことごとくセカンドボール拾われる。いつものパターンでエヴァとレオロシャ入れてはみたものの、見事なぐらいにボールが収まらない。ボールを持たなきゃ、単なる練習用のコーンと変わりないような感じすらした。いや、ヒドイ表現だとわかってるんだがね。さらに、そこまでポコポコにされかけたのが、ここントコ落ち目で、試合後にはサポがゴール裏で残業、社長

は説明途中で逃亡したとかいう山形、って事実。スカパー！で見てたボクには、局面局面の個人の頑張りもわかるからいいけれど、現地組はさぞたまらなかつただろうと思われるが、どうだろう？とはいえ、当分はこんな試合が続くワケだ。ギラQの〇い咲きの得点やら、群馬みたいな確変がウチにあるとは思えないし。とりあえず、ナンちゃんには感謝したい。よくぞ唯一の機会を仕留めてくれた！正直なところ、「あ、ミスキック……」と思ったんだよね、翼のCK(苦笑) だいたい、そのCKになった時「そーいや、誰が蹴るんだ??？」と思ったことを素直に告白しておきます。

何はともあれ、そんな状態でも勝ち点1を積めたことは評価したい。しかし、それを活かすためにも、どこかで必ず勝ち点3がいるワケだよ。天皇杯での中断期間で、何としても得点するための連携を向上してもらわないと。その中断明けの千葉戦はレオミが有休。達也ベンチ入り、あるかな？あ、それとJデビューおめでとう！>甲斐健太郎選手(ぐん、)

【天皇杯】 岐阜1-2(延) HondaFC

●総括するなら「決めるときに決めておかないとこうなる。」「ミスした方が負ける。」という、ごくありふれた結果。よくある結末ですね。別に驚くには値しないというところですか。とりあえず、暑い中の残業おつかれさまでした>両チームの選手のみなさん。

当初は来る予定がなかった天皇杯1回戦。いろいろ用事もあるし、何よりトーナメント表を見たら、翌日ヤマスタでセカンドが磐田と試合。じゃあ、近場へ……って思ってた、事もあろうにスカパー！がライブ中継なんて(苦笑)。しょうがねえな、んじゃ、別件も付け加えて久々のメドウへ、と切り替えた。観戦はメインスタンドから。さすがに専用スタジアムのメドウ。試合中に選手とベンチが意見交換してる様子もよくわかった。特に、監督と高地が何度となくやりとりしていたのが興味深かった。言ってることが聞こえる位置にはいなかったけど、言いたいことはなんとなくわかったような気がする試合内容(苦笑)。しかし、冒頭の繰り返しになるけど「あれだけ決定機、というか、枠内にシュートしながら、ことごとくGKにぶつけてたら、そりゃ勝てんワ。」というところか。ホンダにも決定機はあったが、ウチの方が圧倒的に勝機はあった。そう書くのは臆心の引き倒しだろうか？そうは思えないんだけどね。ただ、前半のブルーノが外した2回の決定機。もっと早い段階で撃ってりゃ決まっていた。大事にいきすぎたか、慎重になりすぎたか。あの辺りから、すでに神様にソッポ向かれてたかもね。この時間の試合はホンダの方が慣れてると思ってたけど、後半になってからガス欠したのはホンダだった。でも、そこを決めきれない。オマケにいらぬファール、目を疑うような凡ミスでホンダに流れをやってしまうハメに。決勝点もいささかお粗末だった感。それに目をつむって総括すると、未だにレオロシャとのピッチ上でのつきあい方がわかってない感のある前半と、途中出場した富士の目立ち方がハンパなかった後半。それなりにおもしろかったよ。

一言付け加えるなら、ホームでいつ勝つの？かな。今日は勝ち方思い出す絶好の機会だった。仕方ない。リーグ戦に向けたミニ・キャンプに専念できると考えよう。ホームで勝つならリーグ戦！だな。ただ、せっかく立てた松本行きの計画もオジャンになっちゃったのが残念だ。(ぐん、)

●FC岐阜がJFLにいた時のHondaFC戦は「メモリアル」で行われているので、HondaFCが「メドウ」で試合をするのは相手が西濃運輸だったころの1997年以来19年ぶりなんだとか。

さて、FC岐阜と現在のHondaとはカテゴリーにして2つの差がある。「『格』とはカテゴリーである」というぼくの定義では明確に“格下”な相手に、先制されるもすぐにセットプレーで追いつき、あとは内容的にもこっちの試合。しかし、シュートがことごとくGK清水谷に止められてしまう。試合途中に心配になったのは、「暑い環境での試合はHondaの方が慣れている」ということ。JFLは真夏でも午後1時開始とか平気

で行われるからね。でも、先に脚が止まりだしたのはHondaの方がだったのは、やはりパスまわしとかでFC岐阜の方が上だったからだろう。

それでもシュートだけが決まらずに延長戦へ。こうなると岐阜の選手も脚が止まってくる。最後は「暑い環境への“慣れ”」が出てしまったか。動けなくなったDFの裏を綺麗に突かれて失点してしまい万事休す。なんでも、FC岐阜が天皇杯で『格下』に負けたのは初めてらしい。

さて、「負け」そのものに対しての意見は特にない。リーグ戦の主力級を根こそぎ休ませているけれど、いわゆる“負け負け”ではなく「準主力でどれだけ戦えるのか」の見定めの側面もあったかと。最近のリーグ戦では「守備は7枚、攻撃はブラジル人3枚で行ってこい」なサッカーで勝ち点を拾っているけれど、この試合でも終盤は「守備は7枚、攻撃は3枚で行ってこい」になっていた。やり方がブレていないのはいいことだ。気になったのは、観客の皆さんの雰囲気。そりゃ目標はなんだったって「J2残留」だ。主力を休ませたの『格下』相手の敗戦。でも、プーイングの1つも出なかったように記憶しているのだけど。なんか観客の皆さんが「理解が”あり過ぎる”」ような感じがした。いや、チームの“現状”に理解があるのはいいことだけど、もしかしたら「理解のある皆さんしか来場しなかった」のかも……と考えると、それはそれで少し寂しいメドウの試合後の光景だった。(吉田鑄造)

【天皇杯】 磐田 7-0 岐阜セカンド

●う～ん、1点取れなかったか。あわや、の場面もあったけど最後の一步が足りなかった。そのあたりにもトップ・リーグと地域リーグの差が如実に表れてたかな？ところどころではソコソコのプレーもあったけど、それを試合終了まで続けられる磐田との差はやはり歴然としていたね。PKを外したのは残念だけど、PKに値する決定機だったかというといささか疑問があるので、しかたないのかな？という気もする。とにかく、この経験をリーグ戦に生かしてほしいな。

磐田に7点取られたけれど、祐輝がハットトリックで和道が一点。きちんとした丁寧なご挨拶をいただいてしまった。元氣そうで何よりだ(苦笑)。リーグ戦ではなかなか出番がないみたいだけど、あきらめずにがんばってほしい。

それでも、やっぱり現地へ行けばよかつたかな？長良川へ行くより、はるかに近いヤマスタへ行く予定だったけど、まさかスカパー！で中継があるとは、思わぬ誤算(笑)。それと試合後のエール交換も天皇杯1回戦らしい情景。これはこれで、またよし。ホントにおつかれさまでした。岐阜セカンド。そして、現地参戦の皆さま。(ぐん、)

【ユース】 G1 リーグの結果

●我々がFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は今年G1リーグに参加しており、夏のリーグ戦中断期間も8/27から再開されています。8/27の第10節岐阜工業戦は3対0、9/3の第11節は大垣工業戦は3対1でそれぞれ勝利！第11節終了時点で7勝4分0敗の勝点25でリーグ2位となっています。昨日開催されている筈の第12節長良高校戦と9/17開催予定の第13節東濃実業戦で勢いをつけて後半戦の一番である9/22のリーグ首位の帝京大可児との対戦を迎えたいものです。

もし時間があえば直接現地で選手達を応援してやって下さい。頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜ユース！！※試合会場・時間は変更される場合が有ります。必ず岐阜県サッカー協会やチームの公式サイトで確認して下さい。(シュナ)

※リオ五輪の関係でJ3リーグはこの間にほとんど開催がなかったため、今号での「J3順位表」掲載は見送ります。ご了承ください。(編集子：吉田鑄造)

